

地域の製材品を一堂に展示

(「もりおか地域材フェア」を開催しました)

北上川上流流域森林・林業活性化センターでは、10月24日～25日の2日間、矢巾町にある岩手木材市場協同組合を会場に「もりおか地域材フェア」を開催しました。

このフェアは「木の日」の取組みと併せ、「山」から「住宅」を結ぶ「顔の見える家づくり」をより一層進めることを目的としたものです。県内で唯一の製材品市場の倉庫内では生産履歴情報を添付した住宅建築用製材品を一堂に展示したほか、地域材指向の工務店・建築士をパネル展示により紹介しました。

イベントとしては、林業技

術センターでの木材強度試験の公開実施、大工職人による仕口加工の実演、木工体験、木質バイオマス機器展示等が行なわれ、建築関係者をはじめ来場した約250人の一般消費者に木材の良さを理解していただくことができました。

今回のフェアでは製材業6社、工務店・建築設計事務所10社に展示協力いただきましたが、出展業者間での良い情報交換の場にもなりました。

今後は製材所と工務店の連携強化を図り、地域材の流通促進に向けたしくみづくりを検討していく予定です。

